

リクエスト
シリーズ

男性社会から男女共同参画社会へ

外国から見た日本

男性は女性を守り、

女性は男性に従うのが幸せ

マリック・ハニフさん(31)



などでも男女は分かれて座ります。結婚は親の決めた人とするのですが、自分の婚約者がほかの男性と話すという事は考えられません。一夫多妻制ですが、いつの時も女性は大切に守られているので大変幸せだと言っています。

日本に来て感じた男女差

日本は男性も女性も情けない人が多いと思いました。男性は女性に完全に負けているし、女性は一人の人を愛さず恋人がいながら、ほかの人とも遊んでいる人が多い。むなしい気がします。

日本に来て驚いたこと

女性が男性に口答えすること

両親の家事分担

父は働いて一家を金銭面で支えています。また家の外のことすべて父に聞きます。父が亡くなってしまったので、それは現在長男である自分の役目です。母は、家事全般をし、家を支えています。家の中のことはずべて母の許可を得ます。

男女共同参画社会について

女性と男性では役目が違うと思っています。同じことを同じようにする必要は無いのでは？

この人の下なら働いてみたいと思う女性は

いません。基本的に女性の下で働くなんて考えられない。和田アキ子さんは強いと思うけれど、「俺の下で働け」という感じですよ。以前母国で、女性の大統領が誕生しましたが、ブライニングがおきてすぐ辞めました。その女性が選ばれたのは、その女性の力ではなく、父親である元大統領の人気のお陰です。

母国での男女差

イスラム經典の教で、バキスタンでは昔から「女性を首長とする民族は繁栄しない」といわれています。これは女性を蔑視しているのではなく、女性は人類存続のために子供を産んで母になるという偉大な仕事を成し遂げるので、さらにほかの仕事させるのはいたわりが足りないという考えからきています。したがってバキスタンの女性はまず結婚したら仕事を持たず家の中心になります。夫の給料で一生を過ごすため、夫のいうことを100%信頼し、絶対といっているほど逆らいません。夫以外の男性に肌を見せるのを避けるため、洋服にも気をつけています。夫のすることに口を出しません。公共の乗り物では女性が座り、男性が立つこともしばしばです。結婚前に男女が会うことはなく喫茶店や映画館



ジョー・バースローさん(29)

母国での男女差(差別を感じる点)

差別はある(日本ほどではない)

女性の管理職が少ない

日本に来て感じた男女差

女性の国際交流員と一緒に、日本人に紹介された時にその男性は男の自分にだけ名刺を渡した

日本に来て驚いたこと(服装、考え方、役割、余暇の過ごし方)

日本は主婦でも家計を握っている(働かなくてもお金に強い)

余暇の過ごし方

米国/友達、夫婦で行動 日本/職場の人

服装

米国の学生/ラフTシャツ 日本の学生/オシャレ

考え方

米国の女性/大学等の知識を一生生かす為就職し、仕事も続ける

日本の女性/4~5年で結婚したら辞める

両親の家事分担

父・母/週末、トイレ、部屋の掃除、洗いかたづけ、お互いにする。

子供/自分の部屋のゴミ出し、掃除、知り、洗いかたづけ

男女共同参画社会について

米国の方が進んでいる
実力がある人が進めなければ良いので、男女にこだわらず効率的、合理的に進められる人がリーダーシップをとる

この人の下なら働いてみたいと思う日本人女性

特に分らない

実力がある、自信のある人、仕事を熱心にする人

大切な時に相談してくれる人(重大なこと)

ります。皆様の声を誌面にぜひ活かしてください。

③こんなコーナーがあったらいいなと思われる方。ぜひ編集会議にご参加ください。

④男女共同参画社会に関心を持たれている方。連絡先を教えてください。座談会などに出席していただきます。



いまだに重要視される 「敬老思想」や「家父長制度」

崔 チエ 民昊 ミンウ さん(22)



日本に来て感じた男女差

日本は全体的にO.L.という階層が他国に比べ非常に多く、その女性たちが独特の文化を創っているのが珍しいです。O.L.という女性を指す用語に対して、男性を指す用語がないのも、まずほとんどの主な仕事は男性がやっているためではないかと思われれます。日本に来て驚いたこと

まず、日本ではフアッションによる、女性たちの自己表現が自由で個性的だと思えます。

また、韓国に比べて日本の若い女性は性に対して非常に開放されていると思います。例えば、結婚を前提にしていなくても、好きな人となら性的な関係を持つことに違和感がないみたいです。性というものを十分に楽しむような気がしました。今までは「性主導権」が男性側にあったのに対して、女性も精神的・肉体的に自分を表現できるようになったと思いました。

両親の家事分担

私の場合は、父親がいないので弟と私の場合を申し上げます。私が小さいときから、私の母は弟に台所には入らせなく、すべての家事は父がやるべきものだと思って、私にさせてきました。(やはり子供の時から男女を問わず家事は家族みんなの仕事であることを認識させることが大事であることが分かりました。)

男女共同参画社会について

今や、産業化、情報化社会によって伝統的な父系社会や親族制度は崩れ核家族や共働き家庭が増えつつあります。一方、韓国では共働き家庭の問題点として、子供の養育や教育、家事の労働負担が指摘されています。そのため、配偶者の家内活動の参与、家事の分担、子供の教育の社会的機能の拡大、母親に対する社会的家庭の支援などが求められています。まず、男女共同の社会参加を促すためにも、夫婦関係の公平性を保つ上で、均等な家事の分担、総合理解が必要だと思えます。

また、政府や国民の、女性に対する認識や協力があってこそ、女性の公的領域の拡大や社会的かつ経済的豊かさを高める土壌を築くことになるのではないのでしょうか。両性の平等こそが社会の発展のために欠かせないという実証的な根拠の下で、社会政策の内的・外的な不公平の条件を改革していけば、いい結果を招くと思えます。

この人の下なら働いてみたいと思う日本人女性

能力があり、自分の開発のために常に最善を尽くし、人に対する思いやりの心のある人の下で働きたいですね。

母国での男女差
韓国では昔から儒教の文化が国民の生活に多大な影響を及ぼしてきました。そして、その儒教の思想の中では、目上の人を尊重する敬老思想や家庭の中で家長が主な実権を握る「家父長制度」が重要視されます。かかる伝統的な状況の中で生活してきた韓国人々は現代社会を営んでいるものの、未だにその弊の影響の下で少なくない女性たちが差別を感じています。

実質的には男女の仕事の区分もなくなっていますが、ほとんどの家庭ではまだ女性が家事労働を担当しています。実際にその比率は7対3の割合で女性の負担が著しく重い有様です。たぶん韓国の男性たちは、幼い頃から母親に「大きな人物になる者は台所に入るべきではない」と教わってきたり、家事を軽視する根強い潜在意識を持っているように思われます。

また、社会政策の最も核心的な目標が平等にも関わらず、雇用の場合もほとんどの会社で、結婚後に育児や家事のため、会社を辞める確立が高い女性の雇用を避けている現状です。そのため、同じ就職を受けても女性は就職が難しく、もし就職を受けても会社側の女性に対する配慮と福祉政策を整えていないため、家庭と仕事を同時にうまく成し遂げるのはなかなか難しいです。



エドワルド・ヒルマさん(26)

母国での男女差(差別を感じること)

差別あり
専業主婦が多く、家計は男性が握っている
職場で給料差等あり
セクハラはナン

日本に来て感じた男女差

スペインと似ている
パーティー等夫婦で行動するが日本は男女別々(宴会)

女性がお酒を良く飲むこと
スペインの女性は嬉しいが日本人はあまり(夫が夜遅くても文句を言わない等)

土、日は家族でのんびりする(若者も)(スペイン)
父親と娘の接し方がまずい(日本)
父母のふるさとに子供を良く連れて行く(スペイン)

両親の家事分担

母家事
父自営業
20、30代は男性が手伝っている

男女共同参画社会について

望ましい社会だと思おう
女性政治家も増えれば良い(スペインは現在2人の大臣がいる。農水産教育)

この人の下なら働いてみたいと思う日本人女性

特に個人にはわからない
理想的な人
明るい人
冗談が通じてまじめな人
頭のいい人
その他きついたこと

「男女共同参画社会」へ向けて、広く市民の皆様のご意見・主張を募集いたしてお
①在日外国人の方 上記の質問内容について母国のこと等を教えてください。
②男女共同参画社会に関する催しものに参加された方。レポート内容と写真ご送付ください。

